都市再生整備計画 事後評価シート 新鹿沼駅周辺地区

平成23年3月

栃木県鹿沼市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	栃木県市		<mark>丁村名 鹿沼市</mark>			地区名		新鹿沼駅周辺地区		司辺地区	面積	177ha			
交付期間	平成18年度~3	平成22年度	事後評価実施時期		平成22年度 交		交付:	対象事業費	4,445	4,445百万円 国費2		<u>率</u> 0.4				
											事業名					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業		道路(3・4・212号新鹿沼西通り、3・5・204号千手通り、3・4・205号東武駅前通り、3・5・203号末広通り、3・5・207号貝島西通り)、高質空間形成施設(貝島西地区山伏の道街灯設置、鹿沼駅西地区小藪川景観形成、新鹿沼駅前観光案内板設置)、区画整理事業(新鹿沼駅西土地区画野業、貝島西土地区画整理事業)												
	実施した事業	提案事業														
			事業名						削除/追加の理由 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画 から 削除した 事業		道路(市道5069号線)											指標2に関連する事業ではあるが、関連も軽微であるため、指標等の変更は据え置く。		
			公園(富士山公園トイレ改修)										事業項目の移動のため、指標等への影響はなし。			
			高質空間形成施設(新鹿沼駅西地区駅前広場景観形成)					新鹿沼駅西区画整理事業と一体的に実施事業項目の移動のため、指標等への影響はなし。								
		提案事業	地域創造支援事業(新鹿沼駅東西駅前広場スーパー防犯灯設置)					関係機関との協議の結果、事業中止 指標2に関連する事業ではあるが、関連も軽微であるため、指標等の変更は据え置く。								
	新たに追加し た事業	基幹事業							区画整理事業で実施する事業内容が確定したため、公園事業として 実施 事業項目の移動のため、指標等への影響はなし。							
		提案事業						-								
	交付期間 の変更当初 変更		平成18年~平成22年			交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響			_							
			_											-		
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指 標	ſ	単位	従前	直 基準年度	目標	値 目標年度	サニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内達成見達			フォローアップ 予定時期	
	指標1	<mark>指標1</mark> 居住者数の増加率		%/年	Δ0.9	H17	1.5	H22	-	1.2	Δ	あり なし	● 区画整理事業や道路、公園などの社 良好な居住環境が形成されている。 居住者が増えつつある中で、周辺に 利便性が向上している。	会基盤が整備される中で、	平成24年4月	
	指標2	標2 駅利用者の満足度		%	36	H17	55	H22	<u>-</u>	54	Δ	ありなし	● 現在整備中の事業(駅西駅前広場や駅前広場東西間自由通路) の完了により、目標を達成が見込まれる。駅前広場(東口)が整備されたことにより、駅前広場でのパリアフリー化や、交通結節機能の強化、景観整備など、総合的な駅周辺の整備により、利用者の満足度が向上している。		平成24年4月	
	指標3	駅への歩行者アクセスの 短縮		分	23	H17	12	H22	-	23	×	ありなし	指標に直接的な効果を発揮する事業 年3月時点で未完了であるため、評価 いる。これらの事象の完了により、目 歩行者にとっての駅へのアクセス時間 交通ネットワークの構築に繋がる。	i値は従前値と同様となって 標値を達成すると見込まれ、	平成24年4月	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値	指 標			単位	従前			数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内 達成見:			フォローアップ 予定時期		
目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1															
4)定性的な効果 発現状況	○東武駅前通りで・ ・見島西土地区画動 ○駅前広場整備に。 ・駅前広場整備に。 ○千手通りの幅員の ・駅前広場や貝島で ・駅前広場や貝島で ・駅前広場やファッ	整理事業区域I のと のと を理事 を で のと で のと で で で で で で で で で で で で で	内に3箇所の公園が繋の立地 の立地 む中で、住宅が整備さ 通結節機能の強化 が新鹿沼駅前広場ま ルトワークの構築 いら18mに拡幅された。	れつつあることに呼 で乗り入れすることが ことにより、大型トラ・ う道など、良好な景も う向上	応し、東武駅前: ができるようにな ックなどの通行か 現形成に寄与する	通りに店舗やり、団体でので が可能になり、 る施設が整備	の病院が立地し、 観光客等の利便 幹線道路のネッ がおい、駅利用者	生活利便性 を性が向上し いトワークがを がをはじめとす	駅の交通結節機 構築された。 「る地域住民から景	能が強化した。	平価されている。					
5)実施過程の評価			実施内容							実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリ	ング	都市再生					を備計画に記載し、実施できた - と を備計画に記載はなかったが、実施した と を備計画に記載したが、実施できなかった -				-				
			①新鹿沼駅西土地区画整理事業に対して発足した研究会活動の支援を実						WALT-1-80-10.				土地区画整理事業の進捗に合わせて、研究会の開催を支援していく。さらに、事業完了後には地域のまちづくりの組織			
	住民参加 プロセス		他した。 ②駅の西側地区内の一級河川小藪川の改修にあたり、地元対策協議会の						登録				ょるよう活動を継続的に支援していく。 ②事業完了後に小藪川遊歩道の清掃等の維持管理への参加の機会を市民と協働で作っていく。また、遊歩道の花植えな			
	716		③地元商店街による朝市や納涼祭の開催など、地域の活気づくりのための					都市再生)受着を持てる空間づくりの機運を醸成し、支援を行っていく。 3)今後も継続して、地元商店街や住民による、駅周辺でのイベント等の開催の支援を行う。			
	技結めか 士	たづくり	地域は民主体による。防御・防災活動の仕組みを敷え、活動の支援を行る。都市再						整備計画に記載し、実施できた ●							
	持続的なまちづくり 体制の構築		た 都市具						E整備計画に記載はなかったが、実施した 要を備計画に記載したが、実施できなかった				kり多くの人が防犯活動に参加できるよう積極的なPRを行うとともに、活動の継続的な支援を行う。			
			都市再生整備						を偏計画に記載した	こか、実施できな	かった					

様式2-2 地区の概要

新鹿沼駅周辺地区(栃木県鹿沼市) 都市再生整備計画事業の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 目標値 評価値 居住者数の増加率 単位:%/年 △0.9 H17年度 1.5 H22年度 1.2 H22年度 新鹿沼駅を中心とした次世代に受け継ぐべき都市空間の形成 駅利用者の満足度 単位: % 36 H17年度 55 H22年度 H22年度 ・駅を最大限活用できる利便性の高い周辺整備 駅への歩行者アクセスの短縮 単位:分 23 H17年度 H22年度 H22年度 地区の資源を生かした快適な居住環境の形成 ・円滑で安全・便利な交通ネットワークの構築 単位: 単位: 1000^m N 500 O関連事業 公園 通ネットワークの構築) Jan: I lease vak. or yo 新鹿沼駅周辺公園整備 〇関連事業 ■基幹事業 高質空間形成施設 新鹿沼駅前観光案内板設置 3・4・212号新鹿沼西通り (電線類地中化) (交通結節点の機能強化) ■基幹事業 高質空間形 <mark>小藪川景観形成</mark> (散策路及び景観整備) ■基幹事業 道路 3・4・205号東武駅前通り 口提案事業 〇関連事業 (バリアフリー空間の形成) 新鹿沼駅西地区まちづくり研 東武新鹿沼駅前広場整備 山伏の道街灯設置、景観整備 究会(まちづくり意識の向上) (交通結節点の機能強化) ■基幹事業 道路 3・5・203号末広通り (バリアフリー空間の形成) 新鹿沼駅前広場、駅前広場東西間自由通路 ■基幹事業 高質空間形成施設 (完成イメージパース) 山伏の道街灯設置 (防犯強化、景観整備) ■基幹事業 土地区画整理事業 貝島西土地区画整理事業 (快適な居住環境の形成) 〇関連事業 土地区画整理事業 〇関連事業 貝島西土地区画整理事業 (快適な居住環境の形成) 市道0017号線 ■基幹事業 公園 沖公園 やすらぎ公園 的場公園 ■基幹事業 道路 ・4・212号新鹿沼西通り 凡 例 (交通ネットワークの構築) 基幹事業 ■基幹事業 土地区画整理事業 **「鹿沼駅西土地区画整理事業** 〇関連事業 提案事業 東武新鹿沼駅前広場東西間自 ■基幹事業 道路 ■其幹事業 高質空間形成施設 〇関連事業 土地区画整理事業 由通路 関連事業 新鹿沼駅前観光案内板設置 新鹿沼駅西土地区画整理事業 (交通ネットワークの構築) (交通結節点の機能強化) 交通ネットワークの整備) (快適な居住環境の形成) ・駅前広場の整備が進み、交通結節点機能や利便性が向上し、駅利用者の満足度も向上している。 ・駅前広場に加え、駅周辺の散策路の景観整備が進み、魅力ある駅周辺の空間が形成されつつある。 ・駅前広場や駅前主要道路のバリアフリー化が進み、安全でゆとりある歩行空間が形成され、周辺を回遊する歩行者等が増加しつつある。 ・2地区での土地区画整理事業や、それに伴う公園や道路整備が進み、快適な都市基盤が整いつつある。それにより、居住者も増加傾向にある。 まちの課題の変化 ・駅前広場整備により、大型バスが駅までアクセス可能になるなど、駅の交通結節点機能は強化されつつある。 ・魅力的な駅周辺施設が整いつつあるものの、未だ賑わいや活気は乏しい。 ・線路によって東西に分断された地区を結ぶ、東西自由通路整備が未完了であり、交通ネットワークが十分に形成されていない。 ・駅前広場や周辺道路整備、区画整理事業による良好な住宅地、公園などの社会基盤の利用を促進するようなネットワークの推進 ・区画整理事業後に転入してきた居住者間の交流を促進し、自治会活動や自主的な防犯防災活動組織の設立など、住民主体のまちづくを支援 ・社会基盤の整備により、良好な景観が形成されつつあることを活かした、商店街や周辺住宅地での良好な景観形成の誘導 今後のまちづくり の方策 ・駅前周辺の商店街や自治会との協働によるイベントの実施など、駅周辺での賑わいや活力ある魅力的な空間の形成 新鹿沼駅西土地区画整理事業や駅前広場東西間自由通路などの未完了事業の円滑な実施による、駅へのアクセス性の向上 (改善策を含む)